

2020年7月13日  
日興アセットマネジメント株式会社

## 「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」 分配金のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」は、2020年7月10日に決算を行ないました。

本資料では、当期の分配金についてご報告するとともに、マザーファンドの運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドのコメントをご紹介します。

### 当期の分配金と設定来の基準価額推移



#### <当期の分配金>

分配金 (税引前、1万口当たり)	0円
基準価額(1万口当たり) 2020年7月10日現在	9,557円

#### <基準価額の推移>



※ 基準価額は信託報酬(年率1.364%(税抜1.24%))控除後の1万口当たりの値です。

今後の分配金額につきましても、引き続き、収益分配方針に基づいて決定してまいります。  
今後も、当ファンドをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

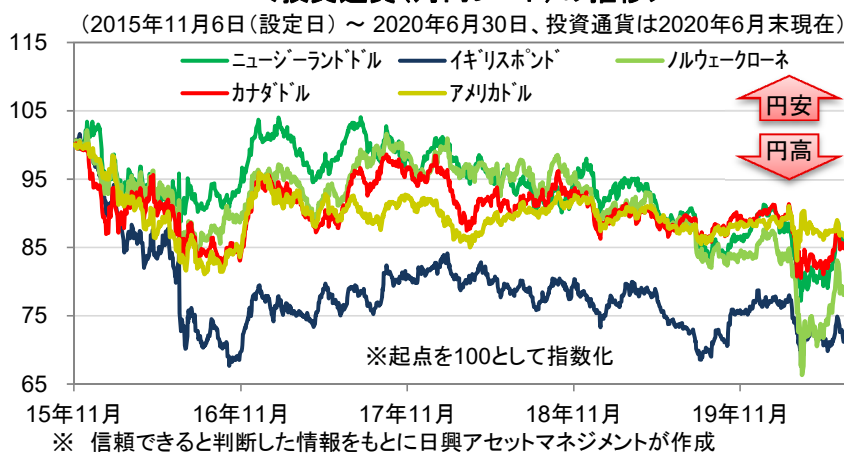
■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。  
■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。  
■ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

## 当期の運用概況について (2020年1月11日~7月10日)



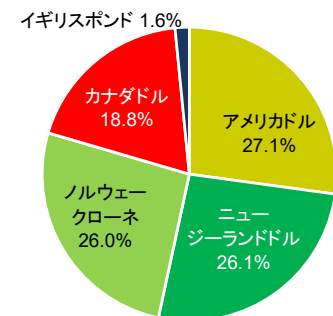
- 2020年2月末から3月中旬にかけて、新型コロナウイルスの感染が世界に拡大したことを受け、債券市場は大きな混乱に見舞われました。市場心理の悪化から、主要国債券の利回りは低下(債券価格は上昇)したものの、リスク回避の円高が進んだことで、投資通貨は円に対して下落しました。そうした中、当ファンドは3月中旬にかけて大きく下落しましたが、6月上旬には下落前の高値を回復しました。
- 新型コロナウイルスの感染が広がった2月以降、当ファンドでは、通貨別比率の大幅な変更は行ないませんでした。金融市場の混乱と流動性の低下が比率の調整にかかる取引コストを上昇させたほか、当時のポートフォリオは一般に安全資産とされる米国債券の比率を比較的高位に保っており、保守的な内容であったためです。一方で、世界の中央銀行が更なる金融緩和を実施すると見込まれたことから、今後数カ月は債券価格の上昇が期待されると判断し、債券のデュレーションを長めにとることとしました。
- その後、中国や欧州を中心に、大規模な都市封鎖などの対策が効果を上げ始め、市場心理も改善傾向となりました。また、世界各国でかつてない規模の金融・財政政策が実施されたことで、世界景気の落ち込みはやがて底打ちし、金融市場も次第に回復すると見込まれたことから、5月に米ドルの投資比率を引き下げ、ニュージーランドドルやノルウェークローネの投資比率を引き上げました。
- ニュージーランドでは、厳しい移動制限によって感染拡大が比較的抑制されたほか、大規模な財政・金融政策がいち早く実施されました。そうした中、5月には経済活動再開の段階的なプロセスが開始されており、同国通貨の相対的な堅調が予想されました。また、産油国であるノルウェーについては、中国を中心に世界の経済指標が持ち直し始めたことから、原油価格が回復し、ノルウェークローネの上昇を後押しするとみられたほか、一般に通貨の下落圧力となる量的緩和策が取られなかったことも支援材料になると判断しました。
- 各国で実施された大規模な金融・財政政策は、経済活動の再開と共に徐々に実体経済に浸透するとみられ、世界経済は年後半にかけて回復すると予想されます。また、足元で感染の再拡大が懸念されていることなどからも、現在の金利水準が当面維持されると考えられ、今後はデュレーションを短期化させることを視野に入れています。引き続き世界の動向を慎重に見極め、常に変化する投資環境を踏まえた運用に努めます。

### <投資通貨(対円レート)の推移>



### <実質通貨別投資比率>

(2020年6月末現在)



※ 上記は当ファンドの対純資産総額の比率です。比率にはその他があるため100%とならないことがあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「高金利先進国債券マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方針あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付) / 愛称: オリーブ2」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。